

## ブル島4部作

これから読まれる方には余計なお世話にならないように、ごく簡単に纏めました。

### 1部 「人間の大地—Bumi Manusia」上・下

4部全編を通じての主人公ミンケは、ジャワ貴族の出身でスラバヤ出身、オランダ式教育を受けたエリート青年。ミンケの生きざまを通じて、1898年から1918年にかけてのオランダ領東インドで、インドネシア民族が覚醒し、自己を確立していく長く苦難に満ちた闘争の始まりを描いている。また、植民地時代に被支配者であったインドネシア人がいかに法律の枠外に置かれていたかを知ることができる。

### 2部 「すべての民族の子—Anak Semua Bangsa」上・下

東インドに入ってくる大資本は農業部門だけでなく、鉱業、運輸、海運、工業にも進出してくる。ジャワの零細砂糖業者は、今や苦力となって、強大なトゥアンの下で働くほかない。こういう状況下で、ミンケは執筆活動や新聞の発行を通じてプリブミの意識改革を促そうと懸命に努める。ミンケ旅立ちの章である。

### 3部 「足跡—Jejak Langkah」

20世紀になり、ミンケはブタウィ=Kotaの世界に入る。あるオランダ人言語学者によりラテン文字によるマライ語の綴り方が採用され、現在のインドネシア語への発展の道が開かれた。ミンケは民族自立に向け、組織（団体）を作ることに腐心する。1906年には法人組織として「シャリカット=プリヤイ同盟」が設立される。週刊のプリブミの新聞「メダン」を発行。読者はプリブミ以外にも広がり、混血児やヨーロッパ人も読むようになり、メダン紙はプリブミの生活にとって救いの神となる。ミンケの多民族を単一の国民にするための組織的な基礎造りの試み。行く手には植民地主義者たちの奸計と執拗な暴力。しかし、ミンケはもう退かない。

### 4部 「ガラスの家—Rumah Kaca」

バタビア警察のプリブミ官僚が、どのようにして同胞の運動をコントロールし抑圧しようとしたか。流刑地につながれたミンケ、その教えを受け継ぐ者たち。

第一次世界大戦で揺れ動く蘭領東インドを舞台にくりひろげられる民族解放の戦いとその結末。果たしてミンケの最後は？

## 1～4部を通じて

ミンケを取り巻く多くの人の物語がある。いくつかの例を挙げると、ミンケに大きな精神的影響を与えるオランダ人農場経営者の開明的な現地人妻、その混血娘と結婚後オランダへ連れ去られて短い生涯を閉じるいきさつ、2番目の妻となる革新派の華僑の活動家、さらに3番目の妻や、当時の東インド総督の考えかた等々。ミンケの最後は、涙なしでは読めない。

この長大な小説の最後は次の一行で締めくくられている。

“彼は権力あるものをその座から引き降ろし、卑しめられた者たちを高く上げた”

最後に4部作より先に書かれたプラムディア初期の代表作を紹介させていただきたい。

### 「ゲリラの家族—Keluarga Gerilya」

1949年1月のオランダとの独立戦争下のジャカルタ。あるゲリラ戦士の家族が三日三晩の間に体験した出来事を通じて革命と戦争の時代に生きる人びとの姿を描き出した物語。蘭印軍伍長であった父親とオランダ軍と戦う三人の息子と、その母親の生きざま。インドネシアが真の独立を勝ち取った1949年12月までには、このような壮絶な物語が数多くあったであろうことを改めて知らされた作品である。





大11期生が3年以上に及ぶコロナ禍の最中、感染波の谷間の2022年9月15日、阪大・外国語学部を訪問した。45年間日本を留守にしていた同期生が日本永住を決意し、やっと2021年10月に帰国が実現したのを機に、歓迎を母校(新キャンパス)への訪問を兼ねて実施したものの。

出席者は関東から6名、関西から2名の8名で、その他は所用、体調不良等での欠席であった。千里中央駅からタクシーに分乗して新キャンパスに到着した。真新しいキャンパス・ビルの入り口や図書館、「列子の碑」前で記念撮影をした。夏休み期間でありキャンパスは閑散としていたが、咲耶会の井上事務局長他の歓待を受け、学内をくまなく案内して頂いた。その後、梅田ツインビル内の35階のレストランで60年以上前の昔話に花を咲かせた。

大11期生は昭和34(1959)年4月入学。校舎は上本町8丁目にあった、インドネシア語学科の23名は実質競争倍率約9倍を突破した仲間であった。内藤先生、中西先生、松浦先生、ナジール先生が教鞭を取っておられた。23名の中に紅一点が居た。直ぐに友達が出来たが、暫くして部活動に精を出す者、都会の大学生活をエンジョイする者、勉強ばかりする者に分かれて行った。当時から、外大では自然に国際感覚が養われる雰囲気があった。また、インドネシア語学科の仲間には元氣者が多く、学科対抗の柔道大会や駅伝でも優勝していた。就活期には語科指定の求人が多く、他の学科の仲間から羨ましがられた。勿論「英語堪能者」の求人にも応募した。そして、企業戦士として日本の経済成長に貢献し、定年退職している。今では、越え難い「80の壁」を乗り越えた古き良き時代の企業戦士の面々である。

(写真) 烈士の碑前にて。前列：左から瀧口(旧姓須田)、小原、中川(眼鏡)、中列：大田中(マスク)、後列：左から島貫、前田、堀田、瀧口

さて、第11期生のライフコースのごく一部を、既存の「人物アーカイブ」を基に足早にアイウエオ順に辿ることにしよう。

小原は、泉陽高校卒。外大在学中はワングル部の錬成、合宿、合同ワンデリング、スキー合宿など殆どに参加。卒業後は富士車輛に就職し、仲間内では一番早くインドネシアへ。パレンバンに赴任戦後賠償工事「Project Musi」に従事。滞在中に「9月30日の事件」を経験し、昭和41年に帰国後に、同社に勤めながら大阪市立大学の法学部・商学部、そして後に放送大学の教養学部の4の学士を持った変わり者である。会社では、海外業務として欧州、米国や東南アジア関係業務を担当し、国内営業では3大都市圏で勤務し、本社総務部長勤務を経て定年退職。退職後、NPO法人を設立しケアプランセンター等の介護事業を運営し、自身も社会福祉士やケアマネ資格を取得。また、大阪狭山市議を2期(8年)勤めている。好奇心が旺盛な彼のささやかな自慢は、4つの学士、上梓した5冊の本、554回の金剛登山である。時間的な拘束から解放された今でもテニス、グラウンドゴルフ、卓球など相変わらず動き回っている。

大田中は、長野・木曾西(現木曾青峰)高校卒。メルバブ貿易に就職後、G-30-S(9月30日事件)のあった1965年

9月に初めてジャカルタに赴任した。3年後の1968年にはスラバヤに赴任するも、かつて隆盛を誇ったインドネシアを代表する一大商業都市であったスラバヤが首都であるジャカルタにその地位を奪われているのを実感した。スラバヤ駐在は、二軍的な仕事の位置付けの感があった。第二の都市スラバヤには新たな日本の駐在員は何故か一人。現地には元日本の軍人でインドネシアに在留し、日本の大手商社の連絡員として活躍する若干名の日本人だけだった。当時のインドネシアは極端な外貨不足で日本からの商品輸入もままならず、活発な商業活動も出来なかったが、それでも4年間に亘り駐在。転機は1975年バンドン市に設立された日合弁会社PT Ewindo社(電子ワイヤー、電気部品製造)に社長として派遣されている。爾来、現役を引退した2015年までの約40年間、常春のバンドンで過ごしたとは誠に羨ましい限りである。体力の衰えを感じつつも、2022年8月バンドンを訪問している。

島貫は、京都・洛北高校卒。外大学生時代、陸上競技部中距離選手として活躍した。卒業後は沖電気工業入社。経理部、海

外事業部に在籍し、ケニア(ナイロビ)、香港駐在を経験。その後、関連会社沖電線に移籍した後にシンガポールに駐在し、現地販売会社を設立。営業の傍らバタム島(インドネシア)の工業団地に電線・ケーブル工場の設立、運営に携わる。又、沖電気半導体製造の協力工場である某外部協力会社がピンタン島(前述のバタム島の隣)の工業団地内に初めて海外進出して半導体の組み立て工程を担うことになり、その工場設立、運営に従事。2001年帰国し、そのまま定年にて退職。

中川は、京都・朱雀高校卒。外大卒業後は住友スリーエム(現・スリーエムジャパン)に入社し、13年間大阪支店で勤務したのち東京本社へ転勤。入社時以来担当の接着剤製品に加えてフッソ化学薬品、共に世界に冠たる製品を扱い、広く電気・自動車・航空機・建築・精密機器・製紙及び木材や一般工業分野の広いマーケットに携わり、当代1級の研究開発者、製造技術者、学者研究者等多くの友人、知人を得たことは一生の財産であり大いなる喜びであると述懐する。接着剤・化学製品事業の経営責任の任を果たし、65歳で定年退職した。5

年前に奥さんを亡くし寂寞の色は隠せない。新宿区に在住。

🌸 堀田は、京都・紫野高校卒。外大入学時バトミントン部に所属し選手として活躍。2回生から陸上部に移籍。槍投げが専門。東外戦では槍投げと砲丸投げで大会記録を樹立した。又ワングル部にも2年迄兼部で在席していたが、兼部禁止になり陸上部に所属。体力抜群でワングルの全国大会での余興で相撲大会があり、参加し五人抜きを演じて周りを驚かせた事があった。語科対抗柔道大会でインドネシア語学科が優勝した時の立役者でもあった。一方、ワングル仲間とウクレレを弾きその甘い歌声には定評があった。就活時には、大手



(競技会での得意のやり投げ)

証券会社の内定を辞退し、沖電気工業に就職。長く海外赴任を経験した。アフリカのナイジェリア、米国、スコットランドで延べ13年間外国勤務。スコットランドから帰国後取締役就任し、退職まで勤め上げた。長年の海外生活が災いしたのか帰国後最愛の奥さんを亡くしている。ゴルフはシングルまで上達し、仲間内のコンペではしばしば優勝した。趣味は多彩だが中でも海釣りに嵌まっていて、退職後は千葉県の浜に別荘を建て、海釣りを満喫していた。9月15日の母校訪問時には元気な姿を見せていたが、約1ヶ月後に急逝したとの訃報が関係者に入った。

🌸 須田は、新潟県出身。同期の紅一点。卒業と共に当時神戸にあったインドネシア総領事館に結婚までの短期間勤務。夫の転勤に従い1976年11月ニューヨークに、1984年サンフランシスコに、さらにNY州エルマイラを経てニューヨーク市郊外に移動。1997年3月夫とともにジャカルタに渡る、夫の定年退職後は再びニューヨーク市郊外に舞い戻り、2021年10月日本に高齢永住帰国するまで約半世紀近く海外生活。帰国後2022年9月に卒業後初、59年振りの同期生会に参加、長年のご無沙汰を詫びるとともに同期生の温情に包まれていたと感激。現在は東京神楽坂の一面にある高齢者向け賃貸マンションにて夫婦共に健常。

🌸 瀧口は、鳥取県生まれ、商業高校出身。定年退職まで住友商事勤務。1976年9月ニューヨークに転勤、それ以来引き続き海外勤務。米国内の複数の子・関係会社の経営にCEOとして携わり、1997年3月ジャカルタに転出、ニューヨークから直行赴任。定年退職後はニューヨークに舞い戻り、地元の中企業相手にコンサルタント業を2020年6月まで続ける。米国永住の体勢であったが、2019年末に配偶者（同期生）が老後は日本で過ごしたいと心境変化、大慌

てで一切合財を整理、新型コロナ禍の最中に日本へ高齢永住帰国を断行（2021年10月）。

🌸 前田は、西宮高校卒。阪外大卒業後に三井造船(株)に入社した。新入社員時代は現場実習を兼ね、岡山県玉野市在の造船所勤務していた。その後、本社輸出船営業部勤務を経て、米国、NY駐在員事務所へ異動。Major Oil Co.を中心として、大型タンカー、バルカー、コンテナ船 etc. 各種商船の受注営業に従事した。帰国後、同社、大阪在の造船所勤務を経て、船舶部門から本社機械部門へ異動。コンテナ・ターミナル関連の運搬機器であるコンテナクレーンの営業に従事。1988年、米国NY州の現地法人Mitsui Zosen (U.S.A.) Inc. 社長に就任し、7年間の勤務を終えて1995年本社に帰任した。その後子会社勤務後、定年退職し、現在は岡山市に在住。

新キャンパスを訪問した8人以外の「同期の桜」の消息（判明分）を略述する

🌸 宇都宮は、横浜翠嵐高校卒。卒業後は第一物商へ。入社した翌年の1964年にはジャカルタへ赴任し、滞在中に日本女性とバリ島で結婚式を挙げてから帰国。2年後の1968年に東芝へ転職。その後、シンガポールで5年間（1977～82）年勤務した。帰国後は東京で国内営業を担当した後に定年退職している。ただ4年前に最愛の奥さんを亡くし今は一人住まい。最近、足腰が弱り、杖の世話になっているが体調は良いとの事である。

🌸 木本は、眼鏡の本場である鯖江市で長年眼鏡販売会社を経営し、早期に退職。その後は悠々自適の生活を送り、趣味の絵画を描き続けている。最近、耳が遠くなり、補聴器を使用している。足も少し衰えたので、大好きな写生にも出かけることが少なくなっている。

🌸 坂口は、奈良・畷傍高校卒。外大時代は空手部に所属していた。海外コンサルタントの日本工営に入社、程なく開設された同社のジャカルタ事務所へ赴任、インドネシアでの開発事業に従事していた。その後帰国し定年退職。現在は神奈川の茅ヶ崎に在住。

🌸 竹中は、清水谷高校卒。外大時代はグリークラブに所属していて、演奏旅行に参加。卒業後は江商に入社。木材部に所属し、木材輸入関係でインドネシアのカリマントンに出張している。江商が兼松と合併後は東京へ転居。定年退職後は両親の介護の為に大阪府富田林市に定期的に住んでいた。その間、近くの金剛山へ週一で登山を励行。この登山仲間とはニュージーランドやバリ島・ボロブドゥール遺跡等を旅して

いる。両親を看取った後に家族の住むさいたま市へ帰っていった。その後、足が少し不自由で今回は残念ながら欠席するとの連絡があった。

🌸 竹原は、2回生の時、外務省の語学研修生試験に合格し、中途退学したが、理由は不明ながら、3年時に復学。卒業後は三洋電機貿易に就職し、早い時期にクアラルンプールに赴任。その後、現地の華僑の娘さんと結婚し、日本へは帰国していない。その間、連絡は無かったが、堀田は現地に訪問した時に再会したことがあるらしい。4年ほど前に現地マレーシアで逝去したと人伝に聞く。

🌸 広瀬は、学生時代、登山部で各地の山を登っていた。卒業後は日東電工に就職後、主として営業部に所属し、各地を転任し、定年退職後は神戸市に在住。

🌸 森村は、奈良・畷傍高校卒・卒業後は兼松に就職したが、元恩師の松浦先生が居た京都産大へ助手として転身。その後、中西教授の招きにより母校の助手に就任し、40有余年に亘りインドネシア語学科教授として奉職し、定年退職。その間、インドネシア語の辞書を発行している。残念ながら2019年にご家族からの逝去の報に接している。

🌸 諸戸は、兵庫・甲陽学院高校卒。学生時代は柔道部所属し柔道2段だった。卒業後は加商に就職し、インドネシア赴任も経験したが、残念ながら帰国後に病魔に倒れ若くして急逝。

🌸 藪中は、三重・上野高校卒。学生時代はサッカー一部所属。卒業後は木下産商に就職したが、石川島コーリングへ転職している。その時に会社から派遣されて1年間富士山麓で英語研修を受けた後に貿易部に所属し、活躍。しばらくして神戸製鋼に転職し、長らく営業部長として海外貿易に従事した。5年前に、同期生有志の会合が東京で開かれた時はとても元気であったが、次の同期会が延期になったその年（2019）にゴルフ・プレイ中に急に倒れて帰らぬ人となった。

🌸 松岡は、阿倍野高校卒。学生時代は硬式テニス部に所属。卒業後丸福貿易に就職したが、直ぐに親の健康事情により退社し、実家の事業（松岡商店）を引き継ぎついで。長年社長を勤めていたが、晩年になって松岡貿易を整理した。在任中はロータリークラブのチャーターメンバーとしてボランティア活動にも精を出していた。その後病魔に侵されて急逝。因みに、ご尊父（松岡好勝氏）は大阪外語インド語学科第1期生であった。

# 「インドネシア独立への悲願」 を読んで

梶谷 昌博 (1956 年卒)



## 「インドネシア独立への悲願」

著者：アミナ・マジッド・ウスマン長田周子  
出版社：花伝社 ジャンル：伝記

本書は、アジア黎明期にあって、インドネシア独立への悲願に共感し支援した一日本女性の体験記で、全編を通して事実に基づく当時の状況や出来事と関わった人達への厳しいが素直で優しい人物評価等々彼女の真面目で真摯な人間像に感銘を受け、敬意を表したい。また、過去の誤った歴史認識をも指摘した歴史書でもある。著者に「ご苦労さんでした、そして、banyak terimakasih」を言いたい。

1. 本書は、インドネシア独立の熱意に共感し国際結婚した日本女性アミナ①と、独立運動家のウスマン②の長女サルミア③との共著である。

①Aminah Majid Usman 長田周子(1914~現在108歳でご健在) 甲府市生、父、甲斐源氏の流れ名字帯刀の長田家16代目当主・外交官を目指し早稲田大学で学んだが、途中で家督を継いだ篤志家永田瑛(1876~1957)、母、豊富村生、跡見女学校卒、明治女学校の恩師が開設した女子英学塾で津田梅子自身に師事した英才賢母の6人兄弟姉妹の次女、1935年日本女子大学社会事業科卒、ソーシャルワーカーとして活動中にインドネシア独立活動家のマジッドに出会う。40歳で夫マジッドを亡くす。以降今日まで両国の友好親善に尽くす。

②Abdoel Madjid Usman(1907~1955)蘭領東インド・パダン市、オランダ植民地政府の高官、西スマトラ

全域唯一の検事長の父Pandaduka Radja Oesman と教養豊かな母Rliahの10人兄弟の4男として生まれる。パダンでオランダ系小中学を卒業後バタビアのオランダ政府高等学校(AMS)を卒業、パダン市オランダ政庁裁判所に書記官として勤務。4年後書記官を辞任、バタビアで地下組織に参加、独立に目覚める。独立の勉強のため2年間日本に留学、以降パダン市市議員、新聞社主幹、市長に。日本軍侵攻後、独立の約束を引き換えに日本軍に協力。1944年内閣情報局日本へ招聘され幽閉のまま1945年終戦を迎える。戦後日伊貿易に従事、留学生の面倒も見ると、48歳の若さで心臓発作で急逝。4人の子供は父の遺志を継いで、長女の医師等立派に成長、日伊友好に貢献してくれている。

③Salmyah Madjid Usman(1939~現在83歳ご健在)パダン生まれの長女。

1943年両親と来日山梨大学付属小学校入学以来、一貫して日本で教育を受ける。1964年日本国医師免許取得。1969年東京大学医学系研究科臨床医学専攻博士課程単位習得。1970~79年米英イ国で1979~2017年日伊両国で、各々産婦人科診療に従事。2018年母の介護のため日本に移住、今日に至る。

2. 本書はマジッドの日本留学、二人の出会い、マカッサル経由ジャワ、パダンへの旅、結婚とパダンでの生活、メナンカボウの文化風俗習慣、マジッドの新聞社主幹・市議員と独立啓蒙活動、オランダ秘密警察に睨まれガルットの刑務所に、オランダの撤退で釈放され、パダンへ元の新聞社と市長に、日本軍進駐に現地人との融和に協力、日本のスマトラ政府計画、ジャワの郷土防衛軍とスマトラの「義勇軍」、日本へ招聘されて7年間幽閉、日本軍敗戦と自国独立に解放され帰国。日伊貿易や両国友好親善に貢献していたが、心臓発作の48歳の人生を幕を閉じる。

以上までを、多くの同志、友人、日伊関係者との交流を交えて、記述したものである。

3. 著者は何故本書を書く決心をしたのでしょうか。  
【本文p296より原文を引用しました。】

インドネシア独立闘争の中で担った役割を世間に誇示することなく、名誉も名声も富まない人生を送った両親の生き方を、私は誇りにしていた。下記のような著書を糾弾する前に、日本語の自著で両親の正しい人間像と母の大東亜戦争に関わった実体験の歴史を描く責務を感じた。

(1)「ブキチングの日本軍の壕は生活の場所となる

全てを完備しており、掘った人夫にも給与が支払われている。」これに対し、「[3000人の労働者を処刑した穴]と事実無根を書いたインドネシア学者倉沢愛子氏は聞き語りを史実とした」と書いています。現在、多くの日本人社会学者が発表している当時の[真の歴史を知らぬ]現地の現在人から集めた[口実筆記物語]をあたかも[真実の国家の歴史を伝承]しているが如くに文を残すのは、歴史の真実を曲げる危険性があることを認識して慎重になって欲しいものです。【私見：確かにそうです、痛快な忠告だと思います。他にもこの種の例が多く、聞かれた方は良く知らなくても、最大限悪く言う、この種の発言のために日本は損害を被り迷惑をしている。】

(2)2021年10月母107歳の誕生日に偶然出会った「南方の志士と日本人」林英著

筑摩書房が、「1989年共和国独立功労勲章授与：州政府による」「2017年マジッド・ウスマン生誕100年記念」に長女サルミア③が書いた「Momoar Siti Aminah Madjid Usman -Hiroko Osada」の原本引用の範疇を超えた無断流用出版をした。しかも「父母を恋愛結婚」とか「山梨県多額納税者など誇大妄想」と傷つけた。この厚顔無恥な本書の著者と出版社に嚴重抗議したが、「無名だった父上を本にして世間知らしめてやった。」と回答してきた。

その尊大さに日本の文化人の教養はこの程度かと、出版界の有様を見せられた思いだった。

(3)また、西嶋重忠氏のように、官憲から逃れて、転向し、軍属(通訳)として上手く立ち回った彼が遺した記録の、あたかもインドネシアを自身が独立させたがごとく書かれた自伝やその保身と不正直さの上に立って書かれた歴史上誤った資料がなんの検証もなく現在インドネシア史として読者につき付けられた現実には改めて検証する必要がある。以上

#### 追記

1. 誇張のない淡々として文章は読み易く、そうでしたかと思いつつ、一気に読みました。

2. 主人公は、当時のナデシコ会の先導者であり先駆者でした。内外共にご苦勞があったと思いますが、よくぞ頑張られました。私も最初駐在の1959年以降に、主人公の後のナデシコ会のご婦人にお目にかかり、却ってお世話になりました。当時、下手な日本人より優しく人格も立派なご主人で幸せだったと思います。

(岡崎の丹羽さんのクバヨランの話も出て来ましたね、海運大臣になった奥さんの美人の誉れ高いご夫人、私の事務所の所員のおくさん、そう言えばデビさんもそうですね)とは言えご苦勞も多かったと思います。

3. 何故本書を書くことになったか、倉沢愛子・林英・西嶋重忠諸氏への批判は痛烈ですね。よくぞ言ってくれました。韓国の慰安婦問題もそうでした。いい格好をしたい人のいい加減な発言が口述記録が国家に大損害を与えました。インドネシア関係でも多くの著書を読みました。チョウシモンもそうですが、いい格好しの誇張が多く困ったもんですね。

4. インドネシアの独立貢献について、ジャワでのことしか知りませんでした。本書は事実事象と淡々と記述されていて、具体的にどんな貢献をしたのかわかりません。インドネシア政府の独立貢献者になっていますので、ウスマン氏の具体的な貢献事例を知りたいです。

#### 「インドネシア独立への悲願」書評

運動の全体図、体験者が証言：評者 保阪 正康

朝日新聞掲載：2022年12月17日

「インドネシア独立への悲願」アミナ・M・ウスマン108歳の証言  
著者：アミナ・マジッド・ウスマン長田周子  
出版社：花伝社 ジャンル：伝記 発売日：2022/10/24

スカルノとの捕虜交換、東条英機の仕組んだウスマン一家の日本幽閉…。日本軍スマトラ侵略の「本当の狙い」とは？インドネシア独立の志士マジッド・ウスマンを妻として支えた日本女性…

インドネシアの独立に協力、ないし貢献した日本人は数多(あまた)いるだろうが、その一角に佇立(ちよりつ)する人物の評伝である。独立運動の志士アブドル・マジッド・ウスマンに嫁いだ日本人女性、長田周子(おさだ・ひろこ)。彼女の目から見た日本とインドネシアの近代史だ。これまでの歴史は、いくつもの虚構、自賛、隠蔽(いんぺい)、歪曲(わいきょく)が施され、史実が十分に精査されていない、との告発にもなっている。

インドネシアの独立運動の全体図、特に志士を利用して欺く手口などが詳しく書かれている。

ジャワの郷土防衛軍「PETA」と、スマトラの「義勇軍」とは成立背景が全く異なること、さらには日本のスマトラ占有による遷都(天皇をこの地に移す)という説など、史実の再点検が必要な記述もなされている。そういう史実への関心と、共著者(長田の長女サルミヤ)の筆による両親への愛情と畏敬(いけい)の念とが相俟(あいま)って、この書は独自の世界を持つ評伝、あるいは歴史書と言えるように思う。

保阪 正康… Hosaka Masayasu (ノンフィクション作家)

1939年生まれ。著書に『五・一五事件 橘孝三郎と愛郷塾の軌跡』『東条英機と天皇の時代』『昭和陸軍の研究』『吉田茂という逆説』『ナショナリズムの昭和』など。個人誌「昭和史講座」を中心とする昭和史研究で菊池寛賞。



# ジャカルタの新しい中華街、PIK (=Pantai Indah Kapuk)

土橋 瑞江 (1996年卒)

2012年4月からジャカルタで働き始め、その翌年に南十字星に初めて寄稿してからちょうど10年が経ち再びお鉢が回ってきました。引き続きジャカルタで暮らしていますが、その間に勤務先が変わりました。2020年2月から東アジア・アセアン経済研究センター (ERIA) という国際機関で、給与・総務の仕事をしています。

ところが入所1か月後に新型コロナ感染拡大のため在宅勤務が始まり、業務上スタッフの名前は憶えているのですが、顔を合わせる機会が無いのでなかなか顔を覚えられず、という状況が長く続きました。2023年5月現在は既に100%出勤に戻っていますが、慢性的な渋滞に悩むジャカルタ首都圏の人々にとって在宅勤務はうってつけの勤務形態だったので、一部スタッフからは在宅勤務の復活を希望する声が根強くあります。しかもコロナ禍以前より、他者との接触を避けるため自家用車で通勤する人が増えてラッシュアワーの渋滞は悪化しているように感じます。安全で便利な公共交通機関網の整備を願っています。



Office: 現職場での仲間たちと

さて、今回はジャカルタで近年注目を浴びているスポットをご紹介します。北ジャカルタ・西ジャカルタ・ジャカルタ湾に浮かぶ人工島に広がる Pantai Indah Kapuk (PIK) というエリアです。前の職場で、ノンムスリムのローカルスタッフ達が「パンチョランに行けば、美味しい豚肉料理が一杯あるよ」と教え

てくれたが、ジャカルタ中心地から東の工業団地エリアへの途中にある「パンチョラン」にそんなお店が集中しているのか?と当時は思っていたのですが、このPIKエリアの新中華街だと分かったのはそれから随分後のことでした。埋立地には、富裕な華人層をターゲットにした高級住宅クラスターを建て始めたのが開発の発端のようですが、チャイナタウン的なインスタ映えする建物や人気のレストラン、屋台もこのエリアが増えてきて、一躍人気の観光スポットとなっています。私自身、広域の当該エリアであるジャワ島(本島と言うのでしょうか)側に位置する有名な点心料理店等にはコロナ禍前に数回訪れたことはありましたが、2022年8月の週末に付近に宿泊し、インスタ映えする人工島を初めて訪れてみました。このエリアの特色として豚肉料理のお店が沢山あるところでしょうか。この時タイミングよく大学同窓の坂口さんと小泉さんと夕食をご一緒することになり、ポークリブのお店に行きました。その翌朝にはマングローブが生い茂る湾岸から橋を渡って人工島のひとつ Golf Island内を散策。立派な Pantjoran (潘佐蘭廣場) 中華街ゲート前で体操に勤しむ方々を見ると少し中



Pork Rib: インドネシア語学科同窓の坂口さん・小泉さんとポークリブの夕食



Pantjoran Gate: Golf Islandにある新中華街のゲート前で体操する人たち



**Pork Porridge**：朝食の豚肉入りお粥

華圏に来たような感覚になりました。散歩途中にふらっと入った朝粥のお店も普通に豚肉入りでした。とはいえ、ムスリムも食べられるよう「No Pork,

No Lard」の中華料理店もたくさんあります。更に Golf Island 西隣の人工島(この島はまだ開発途上のようで、店内に試走コースを設けた大きな自転車販売店が3つ並んでいる以外は、商業施設はまだなさそうでした)を通り抜け、ジャカルタ特別州とバンテン州の境目がある橋を渡ると本島の一部に戻ってくるのですが、この辺りは PIK2 と呼ばれています。PIK2 に差し掛かった周辺には目新しくそうなものは見当たらず、またこの辺は日差しが厳しく朝10時台でも危険な暑さを感じ、White Sand Beach の前にあるカフェで水分補給して引き返しました。

今年4月の週末に再び人工島散策に行くと、昨年より新スポットが増えていました。Golf Island には、紀伊國屋書店も在る“Central Market PIK” モールや海辺に近い場所にはファッション中心の By The Sea Shopping Arcade、食が中心の East Coast By The Sea (クリームパンの八天堂に似せた「麦味堂」やミスタードーナツ、和食さとのファストフード店もありました) 等、また海沿いの道では電気カートや電気自転車をレンタルして遊ぶこともできます。PIK2 には、White Sand Beach より遠い場所に白砂ビーチ前にレストランが集まる ALOHA Pasir Putih という施設が最近オープンし、夕刻には周辺は渋滞を引き起こすほど混みあっていました。

このエリアの別の特色として犬を飼っている家庭が多いようで、散歩コースになっているビーチ沿いブルバードやモール内でも犬連れの人をたくさん見かけます。

空港からも近いので上空では飛行機が行き交っています。スカルノハッタ空港で4～5時間乗り継ぎの余裕がある場合は寄られてみてはいかがでしょうか。私自身も今後も定期的に美味しいお店などを新規開拓していきたいと思います。そのためにはやはりもっと気軽に公共交通機関でアクセスできるようになって欲しいですね。



**Bridge**：ジャカルタ特別州～バンテン州の境目 (PIK 2 への橋)



**White Sand Beach**：PIK2にある White Sand Beach



**Electric Cart**：高級住宅地横海沿いの道で電気カートで遊ぶ人たち



**Mister Donut & Sat**：ミスタードーナツと和食さとのお店が並ぶ



**Song Fa Bak Kut Teh**：シンガポール発肉骨茶 (バクテー) のお店

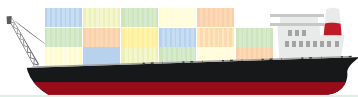


**Mugimido**：八天堂に寄せた？ 麦味堂のクリームパン各種



**ALOHA Pasir Putih**：最新スポット ALOHA Pasir Putih (白砂ビーチ内にはまだ入れませんでした)

# インドネシアの貿易投資動向と日本 2021-22



榎谷 昌博 (1956年卒)

## 1.

凡そ10年程前から、インドネシアとの経済関係、投資等について、日本は中国韓国に著しく後れを取り劣勢に立たされている。親日家を始め多くのインドネシア人は「日本はどうしたのか」と愁い、心配し忠告して呉れている。これは中韓の強引な市場支配もさること乍ら、日本企業がインドネシアに対し消極的であり、重要案件への意思決定が極めて遅いこと等のためであると内外で言われている。

日本が投資で劣勢なのは、

①中国の一带一路政策の下、資金力と余剰労働力(大卒1千万人を含む若人の失業率約17%)の活用等の自国の利益優先策と投資採算の企業責任を問わない点、又、韓国は、外に出て行くしかないと言う不転の対外進出理由と自己利益優先の結果成果に対抗出来なかったこと。

②日本側に反省すべき問題点があった。

即ち(a)日本企業は先進国として長期安定経営に漬かり、中・韓との国際競争に立ち向かう危機感が欠如している。(b)インドネシアの非鉄等の資源開発と自国産化への思いに対して、日本企業は採算性を重視し、極めて消極的である。自国の貴重な資源を自国のための武器手段にしたい、採算を無視してでも付加価値をつけ、より多くの外貨を得たい、資源加工費等先進国が得ている利益を自国のものにした、自国の労働資源を活用したい等々のイ国の願望に答えていない。(事実、フェロニッケルは付加価値をつけニッケル鉱石や精練前の60倍となったとジョコ大統領自身も発表自讃している。中国は消極的な日本の間隙をついてニッケル工場等を稼働させている。)

日本企業には、海外生産の損得や諸リスクの管理も必要だが、長い目で見て何がイ国のためになるか、日本の資源確保に繋がるかなど総合的な判断と

行動必要である。一方、インドネシア側でも日本の地道で着実なインフラ整備、例えば、Jakartaの交通事情緩和に貢献しているMRT鉄道、南北線フェイズ1の成功例等日本の諸協力も評価し報いて欲しい。しかし、そのMRTでさえ今後の延長分等は、英国の2030億円の資金援助やフランスの参入表明に加えPPP(官民連携方式)の推進により、日本は受注出来ないであろう等から、各競争案件に対し、日本勢は自国の利益と個人の利徳のためなら何でもありが当り前の世界と割り切り、これが獲得受注に日本の総合力を発揮して対処すべきであろう。

## 2.

投資以外でも、2015年の中国が受注したJakarta-Bandung 高速鉄道案件は、インドネシアの裏切り行為と言われても仕方がない超打算や不透明な行為に対して日本側は対インドネシア不信と怒りに墜ち入り、両国の関係は停滞した。しかし、その後のジョコ大統領の友好的な訪日を機に辛い過去を忘れたかのように大歓迎になり、2021以降は徐々に関係改善され、最近では港湾・下水処理等明るい協力案件も出て来ており、もとの良好な関係に戻ったと言える。

## 3.

インドネシアは世界第4位の2億7千万の人口を有し、毎年800万人の労働者を供給している。2021年のインドネシアの経済は新型コロナの感染拡大の影響を受けつつも、実質GDP成長率3.7%のプラスと





なった。これはコロナ制限緩和・失業率の6.5%に改善・国内消費の回復と家計支出増・企業回復による設備投資・財サービスの輸出入の拡大による。2022年も順調で2023年の成長率は5.3%が見込まれている。2021年の輸出入は相手国の経済回復や石油資源などの国際価格上昇に加え、国内の企業の回復により輸出入ともに40%増加した。

輸出は最大の輸出相手国である中国への輸出が前年比69.3%と大幅増で、インドネシアの輸出全体に占める割合も23.2%に上昇した。続いて米国の前年比39%増、日本の31%増(13,665百万米ドル)、マレーシアの48%増であった。

輸入は中国からが42%増、日本37%増(25,880百万米ドル)、シンガポールが25%増。2022年以降も順調である。一方、米州、中東アフリカ等との経済連携協定が進展しており、貿易拡大に繋がる。ただ、輸出入の突破的な制限があり注意を要する。



#### 4.

対内直接投資は、香港による基礎金属への投資・米国の鉱業関連への投資が貢献して2年連続で前年比増であった。米国は東ジャワ州における新規の銅精錬建設や南スラウェシー州の石炭付加価値project等投資が3.4倍になり日本からの投資額を上回った。

自動車・輸送機分野では韓国の現代自動車とLG エナジーソリューションによるEV向けリチウムイオン電池の生産工場が設立された。基礎金属・金属製品分野では中国香港等がニッケル精錬等大規模な投資が行われた。中国大手素材メーカーの浙江華友鉱業が北マルク州のニッケル・コバルト精錬の新事業に乗り出す。中国車載電池大手の寧徳時代CATL子会社のCBL(寧波普勤時代)がニッケルの採掘・精錬を含むEV用電池の統合事業に乗り出す。これ等に対し日本企業の投資は縮小し案件もなく、極めて問題である。

#### 5.

更に、インドネシアのニッケル資源を目当てに、EV supply chainに加わるべく内外のEV企業のEV・EV電池等への投資が殺到している。就中、EV電池について、イ政府は同国が2027年にもEV電池の「世界3大生産国の一つになる可能性がある」と言う声明も発表している。

Indonesia  
EV



- (1)バックリーアンド・ブラザーズ(エネルギー・インフラ・通信の最大手)：電動化・再生エネルギー・デジタル化に力を入れ投資に動いている。
- (2)インデカ(石炭鉱山大手)：カナダ電動バイクデモンモーターと提携、電動バイクを供給・発売する。台湾鴻海精密と合弁で電池や電動バイクの国内生産を始める。
- (3)アダロエネルギー(石炭鉱山大手)：ボルネオ島にアルミ精錬所と電池生産を2025年までに始める。
- (4)TBSエネルギー(石炭鉱山大手)：配車大手ゴジェックと合弁会社設立、20年代末までに200万台の電動スクーターを供給する。
- (5)エレクトラム：台湾電動スクーターメーカーゴゴロ及び国営メーカーゲンツと提携2023年中に独自の生産設備を作る。
- (6)シナルマス(ウイジャー族が支配)：不動産部門で電動バスに投資、導入する。
- (7)リップー(不動産・病院)：再生エネルギー・EV派の投資をすすめる。
- (8)プルタミナ(石油ガス最大手)・PLN(電力)・アネカタンバン(鉱業鉱山アルミ)・工業持ち株会社MINDの4社：電力供給網を構築、中国CATL韓国LGエナジーソリューションと提携する。  
【註：(1)～(8) インドネシアの現地有力企業】
- (9)中国大手寧徳時代(CATL)韓国LGエナジーソリューション等はスラウェシーハルマヘラ島で10を超えるprojectが進行中。
- (10)シンガポールEV新興企業イオン・モビリティは電動スクーターの製造に向けて準備中。PLNと

100箇所の充電ステーションを設置計画中。

中国のBYDや米国のテスラなど世界的なEVメーカーもインドネシアへの投資に動いている。

以上の投資に対する問題点は、21年の600台のEVが22年には1万台に、そして今後はどうなるか。政府の補助金（スクーター1台にRp7百(約6万円)、自動車にはどうなるのか？

持てる者、買える者より貧困対策に使うべしとの声もある。ニッケル資源開発に絡む政管関係者の暗躍利権争い、等々が存在する。

## 6.

最近になって、上記のような日本の劣勢を挽回すべく、日本も2輪4輪自動車の分野で(ニッケル・EV電池等の投資がないが)トヨタ・ホンダ・ダイハツ・スズキ・三菱自動車などがEV等への投資拡大に乗り出し、インフラ分野でも失地回復から拡大に取り組んでいる。

もともと、日本は従来から、ODAや無償援助枠で、警察やゴミ都市問題の民事生活から港湾道路都市交通などのインフラ関係へ地道に協力してきた。本年2月14日には、日本政府はインドネシアに対し300億

円を限度とする円借款を「競争力近代化および貿易促進計画」のために供与を決定した。心ある清潔なインドネシア人には高く評価され親日家も多い。

## 7.

最後に、本年1月30日の日経新聞に載った駐イ金杉大使のコラムの一部を引用し、大使のご尽力に心から感謝申し上げます。

「両国は海洋問題等国内外で共通の課題を抱えるが、協力の素地は十分にある。高齢化で人欧減少に悩む日本と、若くてエネルギー溢れる国民が増えているインドネシアは相互補完的である。「アジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)」構想に基づき、地域の円滑なエネルギー移行に取り組むことで両国は合意している。-中略- インドネシアが安定した民主主義国家として持続可能な成長を続け、双方が裨益(ひえき:補いや助けとなり、利益を与えること)関係を強化していくことが重要である。インドネシアは独立100年の2045年までに先進国入りを目指して、「朝令暮改」ですら肯定的に捉えて、変化に機敏に対応して行こうとしている。日本もオールジャパンでそれに歩調を合わせ共に成長していくことを追求して行きたい。」



【参考資料】ジャカルタ市内のMRT

### 【資料出所】

JETRO日本貿易振興機構：世界貿易投資動向シリーズ2022年9月30日

インドネシア海外調査部ジャカルタ事務所、日本経済新聞：2023年1月30日金杉大使コラム、2月12日Spectrum Nikkei Asia「インドネシアEV 産業に内外の投資殺到」、その他。



# インドネシア 大統領選挙と政党

梶谷 昌博 (1956 年卒)

## I. インドネシアの大統領選挙：

### 1. インドネシアの大統領選挙 (任期5年・2期10年迄)

1億9千万人超の有権者が直接選挙で決める世界で類を見ない大規模民主主義選挙である。大統領選挙は同時に国会議員・地方代表議員・州議会議員・県議会/市議会議員の計5種類(ジャカルタは特別州故4種類)の選挙が全国80万以上の投票場で行われる。

大統領・副大統領選挙登録：2023年10月19日～11月25日、2023年11月8日～2024年2月10迄75日間キャンペーン期間、沈黙期間=2024年2月11日～13日、投票日=2024年2月14日、開票=14日～15日、その後結果判明、DPR(国会)・DPD(地方議会)宣誓=2024年10月1日。

インドネシアでは、主義主張の異なる政党が多く、しかも、安定多数を保持する政党はない。従って、複数の政党の支持を得る必要がある。一方、直接選挙であるため、人気先行の個人支持獲得が選挙結果を左右すると言われている。その意味では、国民的人気のあるSukarnoの娘のMegawatiが誰の支持に回るか注目されたが、下記の通りガンジャール・プラノボが選ばれた。

誰が大統領になっても、公明正大で真に国を良くして行って欲しい。今後とも経済は確実に発展するであろうし、国民性から見て今後も今の政治社会体制が続くように思う。



### 2. 現在の大統領候補：

2023年4月21日、最大与党でジョコ大統領の支持政党PDI-P議長であるメガワティ・スカルノプトリは、2024年の選挙に先立ち、闘争インドネシア民主党(PDI-P)の優先大統領候補としてガンジャール・プラノボを正式に発表しました。オブザーバーは、ガンジャールの高い当選可能性とPDI-Pに利益をもたらすことが出来ることを考えると、この決定は非常に論理的であると述べている。

この発表に先立ち、次期大統領選には、連立与党の1つナスデム党がアニス・バスウェダン(ジャカルタ特別州知事)の擁立を発表しているほか、これまで2度の大統領選を経験している連立与党のグリンドラ党のプラボウォ・スビアント党首(現国防相)も立候補する意向を表明している。

### 3. 大統領候補の出身又は支援する党と党員数：

大統領選挙には個人の人気もさることながら、出身或いは支援政党の勢力が大きく左右する。

1. アニス・バスエンダン=Nas Dem (当初から一貫して指名支援)、PKS、統一変化連合KPPの民主党議員=163議席、大統領推薦に必要な115議席をクリア。
2. プラボウォ・スビアント=ゲリンドラ党(自身が党首)、大インドネシア連合(KKIR)のPKBと同盟を組んでいる=136議席、115議席OK。
3. ガンジャール・スビアント=PDI-P党(128議席)、PPP等KIB連合ゴルカル党・覚醒党計148議席と組む可能性あり、その場合=250超議席。

### 4. 副大統領候補：

今後10～11月に副大統領候補が決まり大統領選挙は本格化する。ペアを組む副大統領によって、大接戦の3大統領候補の得票が左右されるとも言われている。この重要な副大統領候補について、じゃかるた新聞掲載の本名純・立命館大学国際関係学部部長の記事を紹介します。良く調べられた興味深い記事で、参考になると思います。

「<前文の一部省略>大統領選挙、いま政治駆け引きの中心は副大統領選びに移っている。

その力学は、実は世論調査が物を言う大統領候補より複雑であり、ペアを組む副大統領候補を巡って、政党

間バトルが展開されている。なかでも、開発統一党が推薦するサンディアガ・ウノ（観光・創造経済相）、ゴルカル党所属のリドワン・カミル（西ジャワ州知事）そして国民信託党が推すエリック・トーヒル（国営企業相）等が有力視されている。

ウノはスマトラ島などジャワ外で支持があることから、ジャワ中心のガンジャール支持層の補完が期待できる。ただ、所属政党をコロコロ変えてきた過去や、「アニスに金を貸している」などと暴露する同氏をパートナーにするのに躊躇があって当然だ。



カミルの強みは西ジャワ州での支持にある。同州は最大票田で、ガンジャールが強い中部ジャワと東ジャワを補完する役割が期待できる。ただ、メガワティはカミルを毛嫌いしている。18年の西ジャワ州知事選挙で、カミルは闘争民主党の支持を断ったので、その過去を根に持っている。

トーヒルの売りは、財力と同国最大のイスラム組織ナフタトゥール・ウラマ（NU）の支持だ。今年のNU100周年イベントを指揮したトーヒルは、闘争民主党とNUの選挙協力をメガワティにアピールできる。その協力は前回大統領選の必勝モデルでもある。

このようなペアリング交渉が水面下で繰り返されるなか、リスク最小化の発想がメガワティ周辺で強まっている。つまり、競争相手のプラボウォ陣営に渡したくない人物は誰かという発想だ。ウノやカミルの支持基盤は、プラボウォのそれと重なっている。つまり、サヨナラしても大きなダメージにならない。逆にトーヒルの政治資本は、プラボウォ支持を補完する可能性大だ。であれば、最も渡したくないのはトーヒルという発想になる。

もちろん交渉は流動的で、有力候補も二転三転するであろう。ただ、闘争民主党は4月24日に大規模な決起集会を予定しており、その場で発表がある可能性もある。そのペアが決まれば(5月末未定)、雪崩式に他のペアも決まっていき、選挙戦の第一幕は終わりを迎えることになる。」

## 5. 最近の予想：

① Senin, 17 April 2023、Survei Center for Communication Studies調査結果：下図参照

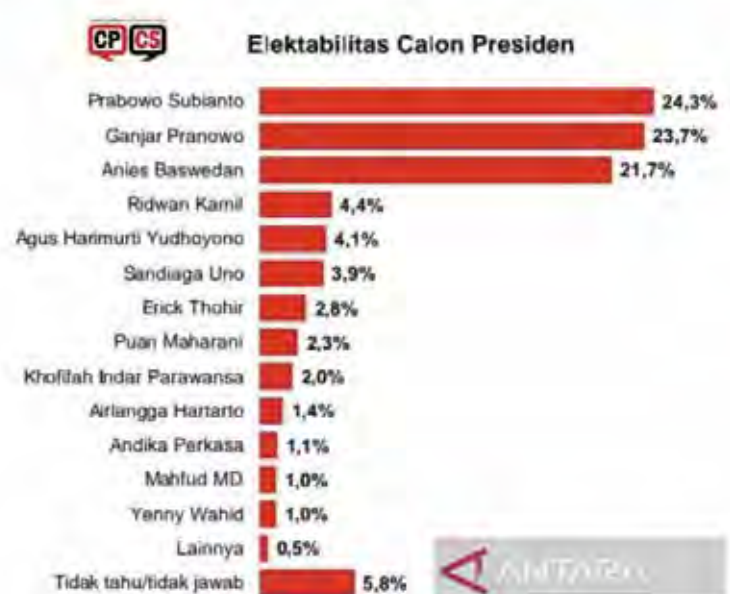
② 2023年5月18日政治指標調査：

ガンジャール-サンディの選出可能性はプラボウォ-エリックよりも優っています。インドネシアの政治指標調査の結果は、2024年の大統領選挙における2つの大統領/副大統領候補ペアのシミュレーションでは、ガンジャールプラノボ+サンディアガウノペアがプラボウォスビアント+エリックトヒルペアを上回っていることを示しています。

「ガンジャールとサンディが、ペアを組めば38%という最高の当選率を獲得し、他のカップルよりも優っている」と、インドネシア政治指標のブルハヌディン・ムフタディ事務局長談。



Aryaは、プラボウォ・スビアント国防相、元DKIジャカルタ知事のアニス・バスウェダン、中部ジャワ州知事のガンジャール・プラノボの間の選挙権競争は依然として非常に厳しいと分析した。明らかに、2023年1月に国立調査研究所が発表した全国調査の結果は、ガンジャールが19.8で最も多くの票を獲得し、次にプラボウォが19.3%、次にアニスが18.4%で続いたことを示しました。



「3人の候補者が続いた場合、大統領選挙は2ラウンドで行われる可能性がある」とArya氏は述べています。

③ 2023年5月27日ANTARA通信：上記②と異なった意見で、要注目です。

Akademisi sebut pasangan Prabowo-Erick akan positif di Pilpres 2024, Sumber daya ekonomi yang dimiliki oleh Prabowo dan Erick juga akan menentukan kemenangan di pilpres mendatang.

(訳) 【学者は、プラボウォとエリックのペアが2024年の大統領選挙で前向きになると言います、プラボウォとエリックが所有する経済的資源も、次の大統領選挙での勝利を決定します。】

ジャカルタ（アンタラ-ハサヌディン大学社会政治学部長（FISIP）のフィル・スクリ博士は、プラボウォ・スビアントとエリック・トヒルが大統領候補と副大統領候補のペアとして、2024年の大統領選挙にプラスの影響を与えるだろうと述べました。

## II. インドネシアの政党（2023年）

（下図参照）インドネシアにおける政党は全国規模の組織を有することが求められ、政党法に定められた要件を満たした法人として法務・人権省に登録することが必要である。なお2012年に改正された政党法に基づく

登録に際しては、全ての州に支部を設置すること、州内の4分の3以上の県市に支部を設置することが義務付けられている。2012年の選挙法改正で代表阻止条項が全国得票率3.5%未満に、2019年の選挙では更に引き上げられ、全国得票率4%未満の政党は議席を得られない仕組みとなった。引き上げた理由は、政党数を削減して議会運営の安定化をはかることであったが、その効果は薄く、第1党の闘争民主党でも得票率および議席占有率が2割を切る状態が続いている。その背景には、政党の支持基盤や組織の弱さ、政党不信から、支持政党を持たない有権者が増え続けている状況がある。このため、政党の分裂と新党結成が常態化している。

インドネシアにおける政党は大きく分けて世俗ナショナリスト系とイスラーム系に区分されているが、その区分の境界は曖昧になりつつある。ナショナリスト系は敬虔さを、イスラーム系は国家や社会のイスラーム化よりは反汚職や大衆の福祉などを訴える傾向がある。また、2019年総選挙後は、与党は、闘争民主党・ゴルカル・グリンドラ党・民族覚醒党・国民民主党・開発統一党の連合であり、明確な野党は福祉正義党のみとなっている。



【順位】	【政党】	【創立】	【党首】	【MPR-RI】	【地方議員】	【与/野】
①	闘争国主党(PDI-P) Partai Demokrasi Indonesia	1999	Megawati Sukarnoputri Perjuan	128	356	与党
②	ゴルカル(GOLKAR) Partai Golongan Karya	1964	Hartarto	85	354	与党
③	グリンドラ(GERINDRA) Partai Gerakan Indonesia Raya	2008	Prabowo Subianto	78	230	与党
④	国民民主党(NASDEM) Partai Nasional Demokrat	2011	Surya Paloh	78	123	与党
⑤	民主党(DEMOKRAT) Partai Demokrat	2001	Yudho Ton Agus Harimurti Yudhoyono	61	247	野党
⑥	国民信託党(PAN) Partai Amanat Nasional	1998	Zulkifli Hassa	44	160	野党
⑦	民族覚醒党(PKB) Partai Kebangkitan Bangsa	1998	Muskaimin Iskandr	58	131	与党
⑧	福祉正義党(PKS) Partai Keadilan Sejahtera	1999	Ahmad Syaikhu	50	155	野党
⑨	開発統一党(PPP) Partai Persatuan Pembangunan	1973	Suharso Monoarfa	10	138	野党

【NB】MPR-RI=Majelis Permusyawaratan Rakyat RI